

令和 7 年度
事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から

令和 8 年 3 月 31 日まで

公益財団法人宮城県水産振興協会

I 組織の状況

1 主な活動事項

年 月 日	事 項	場 所 等
令和 7 年 4 月 1 4 日 ～ 4 月 1 8 日	令和 7 年 アワビ採卵・採苗（第 3 回目）	協会内
令和 7 年 5 月 1 3 日	公認会計士定期監査	協会内
令和 7 年 5 月 1 4 日	令和 6 年度決算監事監査	協会内
令和 7 年 5 月 2 3 日	第 5 1 回定時理事会	パレス松洲
令和 7 年 5 月 2 6 日 ～ 8 月 7 日	アワビ種苗出荷（春季）	協会内
令和 7 年 6 月 1 8 日	第 2 2 回定時評議員会	ホテルグランドパレス 塩釜
令和 7 年 6 月 2 0 日	松島湾浅海漁業振興協議会役員会	J F 塩釜総合支所
令和 7 年 6 月 2 1 日 ～ 6 月 2 2 日	みやぎ漁師カレッジ短期研修	南三陸町
令和 7 年 6 月 2 6 日 ～ 1 0 月 7 日	トリガイ種苗生産	協会内
令和 7 年 7 月 1 日	みやぎ漁師カレッジ長期研修 開講式	宮城県水産技術総合セ ンター
令和 7 年 7 月 3 日	自衛隊・宮城県合同企業説明会	仙台卸商センター サ ンフェスタ
令和 7 年 7 月 9 日 7 月 2 3 日	ヒラメ種苗搬入	協会内
令和 7 年 7 月 1 2 日	海の子・山の子交流会／海のつどい （七ヶ浜町教育委員会）	協会内
令和 7 年 7 月 1 8 日	松島湾浅海漁業振興協議会総会	ホテルグランドパレス 塩釜
令和 7 年 7 月 2 1 日	全国漁業就業支援フェア 2 0 2 5 夏	東京都立産業貿易セン ター浜松町館
令和 7 年 7 月 2 3 日	宮城県漁協青年部通常総会	J F 塩釜総合支所

令和 7 年 7 月 2 8 日	宮城県漁業士会総会・研修会	ホテルグランテラス仙 台国分町
令和 7 年 7 月 2 8 日 ～ 8 月 8 日	ヒラメ種苗放流	県内 1 5 カ所
令和 7 年 7 月 2 9 日	宮城県産地魚市場協会総会 宮城県水産物流通対策協議会総会	江陽グランドホテル
令和 7 年 8 月 2 2 日	ヒラメ種苗直接放流	県内 7 カ所
令和 7 年 9 月 4 日	宮城県さけます増殖協会総会	パレス松洲
令和 7 年 9 月 1 7 日	宮城県私学・公益法人課立入検査	協会内
令和 7 年 1 0 月 1 1 日 ～ 1 0 月 1 2 日	第 2 回みやぎ漁師カレッジ短期研 修	石巻市
令和 7 年 1 0 月 2 4 日 ～ 1 1 月 7 日	アワビ種苗出荷（秋季）	協会内
令和 7 年 1 1 月 1 8 日	第 5 3 回臨時理事会	パレス松洲
令和 7 年 1 1 月 2 0 日 ～ 1 2 月 1 1 日	アワビ親貝購入	J F 唐桑・歌津・十三 浜・セヶ浜
令和 7 年 1 1 月 2 5 日 ～ 1 1 月 2 6 日	太平洋北海域種苗生産機関所長・ 技術者会議	青森市
令和 7 年 1 1 月 2 7 日	栽培漁業推進協議会全国連絡会議	協会内（Web会議）
令和 8 年 1 月 2 8 日	宮城県漁船漁業振興協議会総会	パレス松洲
令和 8 年 2 月 1 1 日	漁業就業支援フェア 2 0 2 6 冬	東京都立産業貿易セン ター台東館
令和 8 年 2 月 1 6 日	水産青年フォーラム	ホテルニュー水戸屋
令和 8 年 2 月 2 0 日	みやぎ漁師カレッジ長期研修 閉講式	宮城県水産技術総合セ ンター
令和 8 年 3 月 9 日 ～ 3 月 1 3 日	令和 8 年 アワビ採卵・採苗（第 1 回目）	協会内

令和 8 年 3 月 1 9 日	宮城県栽培漁業推進協議会	協会内 (Web)
令和 8 年 3 月 2 3 日	令和 8 年 アワビ採卵 (第 2 回目)	協会内
令和 8 年 3 月 2 5 日	第 5 5 回定時理事会	パレス松洲
令和 8 年 3 月 3 0 日 ～ 4 月 3 日	令和 8 年 アワビ採卵 (第 3 回目)	協会内

2 組 織 (令和 8 年 4 月 1 日現在)

(1) 評議員

	常 勤	非常勤	計
評議員の数	—	6 人	6 人

(2) 理事及び監事

	常 勤	非常勤	計
理事の数	1 人	7 人	8 人
監事の数	—	1 人	1 人

(3) 職 員

	1 7 人	うち常勤	8 人
職員の数			

3 賛助会員

令和8年4月1日現在

区 分	所在市町	会費納入口数	入会年月日
遊漁船団体 荒浜釣船組合 籬島東部遊漁船連絡協議会 籬遊漁船組合 宮城県釣船業協同組合 女川遊漁船組合	亶理町 塩竈市 岩沼市 塩竈市 女川町	1 5 0 2 1 1 0	H17. 4. 11 H17. 5. 13 H17. 5. 13 R4. 2. 2 R4. 6. 9
小 計 5		2 8	
遊漁船団体 有限会社 きくしん	亶理町	6	H17. 4. 11
小 計 1		6	
遊漁者団体 くろしおフィッシングクラブ 公益財団法人日本釣振興会宮城県支部 ボートオーナー連絡会北日本	塩竈市 仙台市 塩竈市	2 0 3	H9. 6. 23 H17. 9. 1 R6. 7. 30
小 計 3		5	
釣具店関係 株式会社 竹乃皮屋 えびす屋釣具店（個人会員） みなとや釣具店（個人会員）	仙台市 塩竈市 塩竈市	1 2 2	H17. 9. 14 R4. 2. 2 R4. 2. 2
小 計 3		5	
遊漁関連団体 宮城県定置漁業協会 大友水産（株）大友康弘（個人会員） 有限会社 丸真運輸（個人会員）	石巻市 東松島市 大和町	1 8 2	H17. 9. 14 H17. 6. 2 H19. 1. 25
小 計 3		1 1	
一般団体 藤澤公認会計士事務所 三浦弘希（個人会員）	仙台市 仙台市	1 0	R1. 12. 25 R4. 1. 28
小 計 2		5	
合 計 1 7（うち個人会員 5）		団体会員 4 2 口 個人会員 1 4 口	

※ 震災後、活動を休止している団体もあるが、当協会の事業の取り組みや、内容等についてはすべての団体にお知らせしている。

※ 会費は団体会員が1口1万円、個人会員が1口5千円に設定している。

【 寄附金 】

・塩竈カジキ釣り大会実行委員会 1 0 0, 0 0 0 円（令和7年11月13日）

4 評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

開催年月日	主 な 決 議 事 項 等
令和 7 年 6 月 1 8 日	第 2 2 回定時評議員会 ホテルグランドパレス塩釜 4 階「萩」 決議事項 1 令和 6 年度事業報告（案）及び収支決算（案）の承認について 2 評議員及び役員（理事、監事）の選任について 報告事項 1 令和 7 年度事業計画及び収支予算について 2 特定費用準備資金の承認について 3 令和 7 年度事業の進捗状況について

(2) 理事会

開催年月日	主 な 決 議 事 項 等
令和 7 年 5 月 2 3 日	第 5 1 回定時理事会 パレス松洲 2 階 「芙蓉の間」 決議事項 1 評議員会の招集について 2 令和 6 年度事業報告（案）及び収支決算（案）の承認について 3 特定費用準備資金の承認について 報告事項 1 評議員及び役員（理事、監事）の候補者について 2 理事長の職務執行状況報告について 3 令和 7 年度事業の進捗状況について
令和 7 年 6 月 1 9 日	第 5 2 回臨時理事会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 代表理事（理事長）選定の件

開催年月日	主 な 決 議 事 項 等
令和 7 年 1 1 月 1 8 日	第 5 3 回臨時理事会 パレス松洲 2 階 「芙蓉の間」 報告事項 1 令和 7 年度事業の執行状況について 2 令和 7 年度上半期の財務状況について 3 理事長の職務執行状況報告について
令和 8 年 3 月 2 5 日	第 5 5 回定時理事会 パレス松洲 2 階 「芙蓉の間」 決議事項 1 常勤役員の報酬改定について 2 令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 規則・規程の一部改正について 報告事項 1 令和 7 年度事業の執行状況について

Ⅱ 事業の進捗状況

〈 要 旨 〉

平成27年10月に七ヶ浜町松ヶ浜に完成した宮城県水産技術総合センター養殖生産部の施設に当協会事務所を移転して10年目となる令和7年度は、アワビの種苗生産、ヒラメ種苗の放流を始め、ホシガレイ及び養殖用トリガイの種苗生産に取り組んだ。また、本県における新規漁業就業者を確保するため、前年度に引き続き漁業担い手確保育成支援事業に取り組んだ。

アワビについては、令和6年3～4月にかけて、県内産アワビから採卵・採苗した稚貝を飼育し、平均殻長20mm以上の種苗93万1千個を宮城県に納品した。

ヒラメについては一般社団法人岩手県栽培漁業協会よりヒラメ種苗を購入し、中間育成して16万8千尾を県内15カ所に放流した。一部の種苗に滑走細菌による大量へい死が起きたため、3万7千尾を追加購入して直接放流した。その結果、総放流尾数は20万5千尾となった。

ホシガレイについては、一般社団法人岩手県栽培漁業協会より受精卵を搬入して種苗生産・中間育成して2万7千尾を県内10カ所へ放流した。

トリガイについては七ヶ浜町から養殖用種苗の生産業務を受託し、平均殻長6.7mmサイズの稚貝4千400個を生産し出荷した。

漁業担い手確保育成支援事業については、協会内に設置した「宮城県漁業就業者確保育成センター」を運営し、漁業就業に関する相談や漁業者とのマッチング支援を行った。また、本県では8年目となった「みやぎ漁師カレッジ」長期研修の開催にあたっては、宮城県及び関係機関と連携して受講生の募集に取り組むとともに、カリキュラムの作成や長期研修受講生のサポートを行った。さらに、2日間の短期研修を2回（6月、10月）開催し、一般研修生21名が参加した。

〈 事業活動の実績 〉

○公益目的事業

ア 資源管理型漁業の推進に関する事業

1 アワビ種苗生産

本県のアワビ資源は、東日本大震災や近年の温暖化による海況変動等の影響により大きなダメージを受けていることから、これまで以上に継続的な種苗放流が不可欠となっている。

令和7年度は、県からのアワビ種苗生産業務委託に基づき、下記のとおり種苗の生産・出荷に取り組んだ。

(1) 令和7年度配布用種苗

令和6年3月から4月にかけて、県内産アワビ母貝から採卵・採苗したアワビ稚貝を屋内・屋外巡流水槽で飼育し、春出荷分として令和7年5月から8月にかけて平均殻長20～35mmの種苗70万500個、秋出荷分として令和7年10月から11月にかけて平均殻長20～35mmの種苗23万500個を宮城県に納入した。

(合計93万1千個)

これらの種苗は、宮城県が宮城県漁協18支所及び牡鹿漁協に有償配布した。

【令和7年度アワビ放流種苗の出荷実績】

配布時期	平均殻長	配布個数 (千個)	備 考
令和7年5月26日 ～8月7日	20mm以上	700.5	
令和7年10月24日 ～11月7日	20mm以上	230.5	
合 計	20mm以上	931.0	

(2) 令和8年度放流用種苗

令和7年3月から4月にかけて採卵・採苗を行い、令和8年3月末現在、平均殻長19.8mmの種苗133万7千個を飼育中である。

(3) 令和9年度配布用種苗生産用母貝の確保

令和7年11月25日から12月13日にかけて宮城県漁業協同組合の唐桑、歌津、北上町十三浜、七ヶ浜の各支所から母貝を購入し、令和8年3月からの採卵に向けて養成飼育を行った。

2 ヒラメ種苗放流事業

(1) 中間育成・放流

一般社団法人岩手県栽培漁業協会より令和7年7月9日と18日、23日の3回に分けて合計23万4千尾のヒラメ種苗を当協会へ搬入した。このうち、7月9日と18日に搬入した種苗は概ね順調に育成したが、23日に搬入した種苗は滑走細菌による大量へい死が起き、約5万尾を失った。中間育成終了後、7月28日から8月8日にかけて県内15カ所に16万8千尾のヒラメ種苗を放流した。放流前にヒラメ種苗の黒化率を調査した。

8月22日にはへい死したヒラメ種苗の補填として3万7千尾のヒラメ種苗を一般社団法人岩手県栽培漁業協会から追加購入し、県内7カ所に直接放流した。その結果、総放流尾数は20万5千尾となった。

【令和7年度ヒラメ放流実績】

地 区	放流月日	放流場所 (地先)	放流尾数	平均全長	備 考
北 部	8月6日	大沢漁港（唐桑）	10,100	75.5mm	岸壁放流
		蔵内漁港（本吉）	10,500		岸壁放流
		港漁港（歌津）	10,200		岸壁放流
		袖浜漁港（志津川）	10,700		岸壁放流
		北部計	41,500	—	
中 部	8月8日	塚浜漁港（女川）	11,700	79.8mm	岸壁放流
		寄磯漁港（寄磯前網）	12,300		岸壁放流
		泊漁港（谷川）	10,800		岸壁放流
		新山漁港（牡鹿）	10,300		岸壁放流
		中部計	45,100	—	
南部	7月28日	大曲漁港（矢本）	10,200	69.2mm	岸壁放流
		室浜漁港（宮戸）	10,300		岸壁放流
		菖蒲田漁港（七ヶ浜）	20,400		地先放流
		松ヶ浜（七ヶ浜）	10,200		地先放流
	8月5日	閑上漁港（仙南）	10,300	71.7mm	地先放流
		荒浜漁港（亘理）	10,100		地先放流
		磯浜漁港（山元）	10,100		地先放流
		南部計	81,600	—	
中間育成放流尾数計			168,200	—	
北部	8月22日	大沢漁港（唐桑）	9,250	72.7mm	岸壁放流
		蔵内漁港（本吉）			岸壁放流
		港漁港（歌津）			岸壁放流
		袖浜漁港（志津川）			岸壁放流
中部		雄勝湾	9,250		岸壁放流
		指ヶ浜（女川）	9,250		岸壁放流
南部		鳴瀬（東松島）	9,250		地先放流
直接放流尾数計			37,000	—	
合 計			205,200	—	

（２）水揚げ状況調査

県内主要８港のヒラメ水揚げ状況を魚市場・関係漁協各支所等の報告に基づき月別にとりまとめた。

令和７年度の水揚げ量は６３４トン（対前年比８６％）となった。年平均単価は８６６円（対前年比１１３％）となり、水揚げ金額は５億５千万円（対前年比９８％）となった。この結果、水揚げ協力金は約２千７百万円（対前年比９８％）となった。

（３）ヒラメ放流効果モニタリング調査

令和７年度から放流効果調査は標識魚（ヒレカット）ではなく、水揚げされたヒラメの黒化率を用いて行うことになった。調査は宮城県漁業協同組合や宮城県水産技術総合センターの協力により県内３カ所（気仙沼、志津川、石巻）で毎月実施された。

3 ホシガレイ種苗放流事業

令和6～7年度種苗生産・中間育成

令和7年1月17日に一般社団法人岩手県栽培漁業協会から受精卵12万個を搬入して種苗生産を開始した。ふ化仔魚のうち8万尾を対象に種苗生産を継続し、成長段階に応じて、ワムシ、アルテミア、配合餌料を給餌した。その結果、4月30日時点で3万1千尾の稚魚が平均全長50mmに達した。その後、6月10日まで中間育成を継続して平均全長79mmの中間育成種苗2万7千尾を県内10カ所（志津川支所、歌津支所、大谷本吉支所、気仙沼地区支所、石巻湾支所、石巻地区支所、表浜支所、雄勝湾支所、亘理支所、宮戸支所）に放流した。

4 養殖用トリガイ種苗生産事業

七ヶ浜町からの委託を受け、令和7年6月26日から10月7日にかけて養殖用トリガイの種苗生産を実施した。今年度は、これまでの試験結果を基に稚貝の収容密度を低くして飼育管理を行い、9月上旬時点で約2万個の稚貝を生産できた。しかし、殻長が5mmを超えると徐々に減耗し、出荷数量は平均殻長6.7mmサイズの稚貝4,400個を七ヶ浜町東宮浜に出荷した。生産計画は、平均殻長5mmサイズ1万5千個、3mmサイズ3千個であり、計画数を達成することができなかった。

イ 資源管理型漁業、栽培漁業の普及・啓発

資源管理型漁業、栽培漁業の推進を図るため、次の事業を実施した。

1 資源管理意識の啓発

七ヶ浜町教育委員会が実施している「海の子・山の子交流会／海のつどい」に協力し、令和7年7月12日に開催された地元及び山形県の小学生（約40名）の施設見学等に対応した。また、関係団体及び一般からの施設見学・研修依頼に随時対応した。

2 栽培漁業施設としての知名度の向上

従来のホームページでの情報発信やパンフレットの配布に加え、栽培漁業施設としての協会のブランド化を図るべく企画・検討を行った。

ウ さけふ化放流団体実態調査

宮城県からの委託を受けて、さけふ化放流団体の経営実態調査を実施した。

エ 漁業担い手確保育成支援事業

新規漁業就業者確保のため、県や関係機関と連携して下記内容を実施した。

1 「宮城県漁業就業者確保育成センター」の運営

令和7年度も担当コーディネーター4名を配置し、漁業就業希望者等の相談にワンストップで対応する相談窓口を設置した。

（相談件数）・みやぎ漁師カレッジ長期研修に関するもの 24件

・みやぎ漁師カレッジ短期研修に関するもの 15件

・その他 34件

合計 73件

2 「みやぎ漁師カレッジ」の運営

漁業担い手や漁業就業希望者等を支援するための学校「みやぎ漁師カレッジ」のカリキュラムの作成、長期及び短期漁業研修の開催、研修後の漁業就業とその後の就業状況の確認まで、研修参加者のサポートを行った。

(1) 長期研修

令和7年度は、宮城県内の漁業就業者の確保、育成を図るため、宮城県内で沿岸漁業への就業を希望する方に加え、就業してから概ね5年以内にさらに漁業の知識や専門的な技術の習得を目指す方も対象とした。宮城県の水産業に関する基礎知識やロープワーク等の座学のほか、研修生が事前に選択した専門研修先での漁撈技術の習得を行いながら、一級小型船舶操縦士やフォークリフト運転技能講習などの資格取得支援も受けられ、14名が受講した。

(2) 短期研修

第1回は令和7年6月21日～22日、第2回は令和7年10月11日～12日に実施し、それぞれ8名、9名の参加者の研修サポートを行った。参加者は、東京からの移住希望者や、東京と静岡の大学生のほか、県内の高校生や、製造業、介護職など様々な年齢、業種の方々が参加され、宮城県の漁業を体験してもらう良い機会となった。

3 漁業者と漁業就業希望者とのマッチング支援

令和7年度は、東京で開催された「全国漁業就業支援フェア」（令和7年7月21日、令和8年2月11日）に出展し、参加者へ対して漁業就業に関する情報提供を行った。また、求職者に対して3件のマッチング支援を行った。

4 沿岸漁業者確保支援事業の活用

宮城県の補助事業「沿岸漁業者確保総合支援事業補助金」を活用し、みやぎ漁師カレッジ長期研修生など計15名に対して、漁具や漁業用機器等に要する経費を補助した。

5 漁業担い手スタートアップ支援事業

令和5年度以前のみやぎ漁師カレッジ長期研修修了生や、令和6年度以降のみやぎ漁師カレッジ長期研修生、及び研修等に参加せずに漁業就業した非漁家の方をなど計8名に対して、漁具や漁業用機器、資格取得費用等に要する経費を補助した。

6 漁村活性化推進事業

宮城県内の水産業の振興に資する事業を実施する計8団体に対して、栽培漁業の推進、資源管理の実践、海洋環境の保全、次世代を担う人材の育成、資源の積極的な利活用等に要する経費、及びこれらの事業に関する先進地視察や研修会等の開催に要する経費の補助を行った。

7 社会貢献型自動販売機の支援金

令和7年度は、宮城県漁協本所など計7カ所に社会貢献型自動販売機の設置を依頼し、販売本数9,920本、支援金額19,858円であった。

(※令和6年度は12,010本、24,037円)

○収益事業

水産関連団体事務受託事業

宮城県さけます増殖協会及び宮城県漁船漁業振興協議会から事務業務を受託し、誠実かつ適正に執行し、本県水産業の振興に努めた。